

1 経営理念 「温かさ日本一・憧れ・感動」※学校として目指す方向をキーワード化

2 教育目標 「温かな人間関係の中で、自主的・自立的に活動する生徒の育成」

3 中長期経営目標

(1)学校の現状と課題

- 現状 ①明るく素直な生徒が多く、落ちついた雰囲気の中で学習に取り組んでいる。
②配慮を要する生徒には、関係機関との連携も含め、組織的に取り組んでいる。
③学習内容の確実な定着を目指し、生徒の学力向上に努めている。
④感謝や思いやりの心を育て、お互いを認め合い支え合う集団づくりに努めている。

- 課題 ①教育目標の実現に向けた、組織的な学校運営の強化
②学力向上に向けた組織的かつ徹底した取組
③授業力、学級経営力など、教師としての力量の向上

(2)生徒の望ましい在り方 「凡事徹底」

- ①【時を守り】時間を守り、かけがえのない1日1日を大切にする。
②【場を清め】みんなが使う場所を奇麗にすることは心を美しくする。
③【礼を正す】きちんと挨拶や返事をし、感謝の気持ちを伝える。

(3)教職員・学校組織の望ましい在り方 「家和万事成」

- ①「何のために」を常に意識し、共通理解と協力・協働のもと組織として取り組む。←課題①
②迷ったときは「教員信条」に立ち返り、あるべき姿や進むべき方向を見出す。←課題③
「教職の尊厳に畏れよ」「教化の源泉は自己にあり」「広く愛と敬とに生きん」
③同僚性を高め、主体的実践的な教員研修を推進する。「授業で勝負できる教師」←課題②
④学校全体で働き方改革を推進し、適正な労働時間の実現を目指す。←今日的課題

4 目標実現のための具体的手立て

(1)組織的な学校経営

- ・主任会、生徒指導部会、相談部会等を定例化し、情報の共有と迅速な対応、成果の確認に努める。
- ・若手を中心に教科や学年をこえた授業交流を活性化し、校外の研究会等にも参加する。
- ・合理的・機能的に職務分担し、優先順位をつけデッドラインを設定して取り組む。

(2)確かな学力の育成

- ・ベル学と学習規律を徹底し、「書くこと」「聞くこと」「言葉」を大切にする。
- ・定期的な教科部会で指導・評価(テスト)計画を検証し、到達目標が明確な分かる授業を実践する。
- ・読書活動を推進し、言葉を学び、読解力を高め、創造力を豊かにする。

(3)豊かな人間性の育成

- ・生徒会やリーダー会などの自治活動を活性化するため、月例集会に生徒会の時間を設ける。
- ・見通したり振り返ったりする学級活動とつながりのある学校行事で生徒を育てる。
- ・道徳の時間を大切にし、生徒自らが道徳性を養えるよう授業実践する。

(4)健やかな体の育成

- ・部活動を活性化し、文武両道に取り組む生徒を育てる。
- ・生徒自身が生活習慣や健康な体づくり、食育に関心がもてるように努める。

(5)家庭・地域との連携

- ・信頼される学校づくりに向け、HP等を通して積極的に情報を発信する。
- ・小中連携を推進し、9年間を見通した学びや育ちの実現に取り組む。